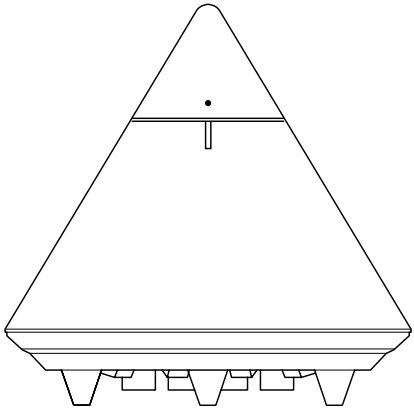
ECLIPSE®

TDA501Ⅱ アンプ
TD307PAⅡ 用アンプ
TD508PAⅡ 用アンプ

取 扱 説 明 書



このたびは、アンプをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、**「安全に正しくお使いいただくために」**を必ずお読みください。
この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に、必ず保管してください。

FUJITSU TEN

JAPANESE

目　次

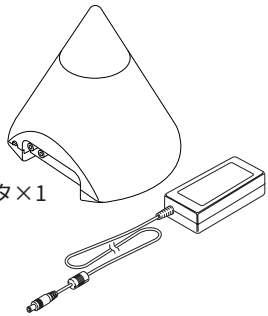
■目次

はじめに ……2
安全に正しくお使いいただくために ……3
使用上のご注意 ……5
各部の名称と働き ……6
接続例 ……8
お手入れ／仕様 ……9
保証とアフターサービス……10

はじめに

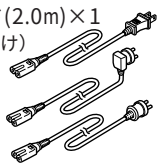
■梱包物

①アンプ×1

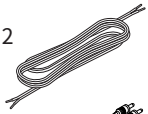


②ACアダプタ×1

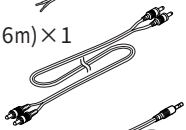
③電源コード(2.0m)×1
（日本･米国向け）
（英国向け）
（欧州向け）



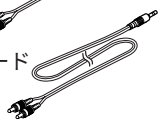
④スピーカコード(3.0m)×2



⑤RCA‐RCAコード(1.6m)×1
(TD307PA Ⅱには
付属しておりません)



⑥RCA‐ステレオミニコード
(1.6m)×1



⑦ステレオミニ‐ステレオミニコード
(1.6m)×1

⑧取扱説明書×1

⑨保証書

＊本製品は､タイムドメイン理論に基づくスピーカの性能を最大限に発揮するために設計されたアンプです。

《タイムドメイン理論とは》

タイムドメイン理論とは､音の波形が出てから消えるまでの、時間的な変化を正しく再現し、再生される音の波形を限りなく原音に忠実に近づけるために生まれた理論です。
この理論によって時間領域（タイムドメイン）での再現性を向上させたタイムドメインオーディオシステムは、音の定位や演奏家が音楽に込めた繊細微妙な表現が、より忠実に再生できるようになりました。

安全に正しくお使いいただくために

■ご使用の前に

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **警告**	**この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
⚠ **注意**	**この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**

⚠ 警告

●本体に表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。
火災・感電・故障の原因となります。

●本製品のキャビネットは、開けない。
感電やけがの原因となります。内部の点検・調整・修理は、当社窓口にご相談ください。
また、本製品を改造しないでください。
火災・感電の原因となります。

●風呂場や雨にあたる所、湿気の多い所では使用しない。
火災・感電の原因となります。

●本製品の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器を置かない。
内部に水や異物が入った場合、火災・感電の原因となります。

●付属以外の電源コードは使用しない。
付属以外の電源コードを使用すると、火災・事故の原因となります。

●電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、加工したり本製品の下敷にしない。
また、重い物を乗せたり、加熱したり、引っぱったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

●タコ足配線はしない。
発熱により、火災の原因となります。

●電源コードが傷ついたときは（芯線の露出・断線など）使用しない。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

●万一、異常な音がしたり、プラグやコードが熱かったり、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常な状態に気がついたときは、電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて点検を依頼してください。
異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

●万一落したり、破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り（電源）プラグをコンセントから抜いて、それからご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

●雷が鳴り出したときは、安全のため、早めに電源コードをコンセントから抜いてアンテナ線やプラグには触れない。
雷によっては、火災・感電・故障の原因となります。
●電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らないでください。
コードを引っぱるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。
●電源コードを熱器具に近づけないでください。
コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となることがあります。
●電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。
●電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。電気工事店にコンセントの点検を依頼してください。
●電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
●ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所又は、高所に置かないでください。
落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。
●調理台や加湿機のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。
火災・事故の原因となることがあります。
●冷気が直接吹きつける所へは置かないでください。
露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。
●直射日光が長時間あたる場所や、暖房器具の近くには置かないでください。
キャビネットが変形・変色したり、火災の原因となることがあります。
●極端に寒い場所に置かないでください。
故障や事故の原因となることがあります。
●火気の近くに置かないでください。
故障や事故の原因となることがあります。
●チューナー等に雑音が生じる場合は、この本製品と離して設置してください。
●移動させるときは、必ず接続されている機器の電源を切り、電源コード、各機器の接続コード、スピーカコード等を抜いた後、行ってください。
コードを接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
●お手入れのときは、安全のため、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
感電やけがの原因となることがあります。
●旅行などで長期間本製品をご使用にならないときは、安全のため、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。
●TVや他のオーディオ機器を接続する場合は、必ず電源を切り、各機器の取扱説明書をよく読み、説明にしたがって接続してください。
●電源を入れる前には、アンプ・サブウーファの音量を必ず最小にしてください。
突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
●大音量で再生中に万一異音が出た場合は、音量レベルを下げてください。
そのまま使用または、長時間音が歪んだ状態で使用すると、スピーカが発熱し、火災の原因となることがあります。

使用上のご注意

■電源を入れる前、または入力切換を行う前には、必ず音量を最小にしてください。
突然の大出力により、接続されたスピーカシステムを破損させる原因となります。

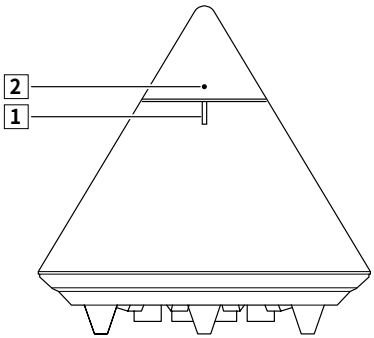
■楽しい音楽も場所によっては気になるものです。ご近所のご迷惑にならないよう、適度な音量でお楽しみください。
特に、夜間などは小さな音量でも周囲にはよく通るものです。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

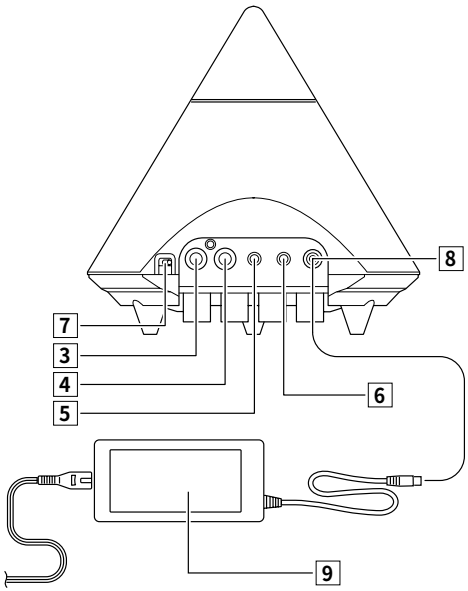
■スピーカは、必ずすべての機器の電源を切った状態で接続してください。
誤ってスピーカコードをショートさせると、アンプ内の保護回路が働き、一時的に音声が出力されなくなります。
このときは、一度電源コードをコンセントから抜き、ショートしている部分を正常にし、再度コンセントに接続した後、使用してください。
又、本アンプの出力のマイナス側はアースではありませんので、他の機器のマイナス側とスピーカセレクタ等で接続しないようにしてください。

■本製品の汚れは、中性洗剤を柔らかい布に含ませて軽く拭いてください。
ベンジンやシンナー系の液体などは使わないでください。

各部の名称と働き

■本体





1 パワーインジケーター

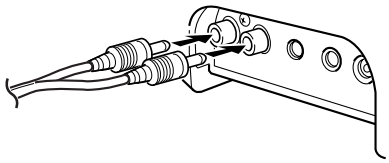
電源が「ON」時点灯します。

2 電源スイッチ兼音量調整つまみ

電源の「ON」、「OFF」切替および音量を調整するつまみです。
右に回すと「カチッ」という音とともに電源が入って音量が上がり、左に回すと音量が下がり、「カチッ」という音とともに電源が切れます。
＊ポータブルCDプレーヤなどの再生機やパソコンなどのヘッドフォン端子と接続する場合、再生機やパソコン側の音量を適度に上げてお使いください。

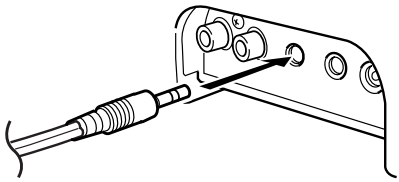
3 , 4 RCAライン入力端子（LINE1）

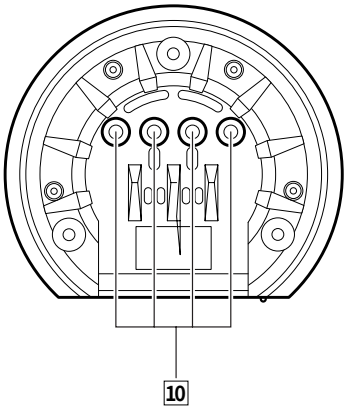
RCAコードを使用して、機器を接続します。
＊ポータブルCDプレーヤなどの再生機やパソコンなどのヘッドフォン端子と接続する場合、付属のRCA‐ステレオミニコードをお使いください。



5 ステレオミニライン入力端子（LINE2）

ステレオミニコードを使用して、機器を接続します。
＊ポータブルCDプレーヤなどの再生機やパソコンなどのヘッドフォン端子と接続する場合、付属のステレオミニ‐ステレオミニコードをお使いください。





6 ステレオミニライン出力端子

本製品からサブウーファへ信号を出力するための端子です。本製品の音量調整つまみと連動して音量が変わります。

＊本製品にはローパスフィルタ機能はありませんので、サブウーファ側で調整してください。

＊本端子に接続するとスピーカ出力にハイパスフィルタ機能が働きます。（カットオフ周波数は90Hzです。）

7 ライン入力切替えスイッチ

本機のライン入力を切替えるスイッチです。

左側：RCAライン入力（LINE1）

右側：ステレオミニライン入力（LINE2）

8 電源入力端子

電源を接続します。

＊付属のACアダプター以外は絶対に使用しないでください。

故障の原因になるばかりか、火災の原因となることがあります。

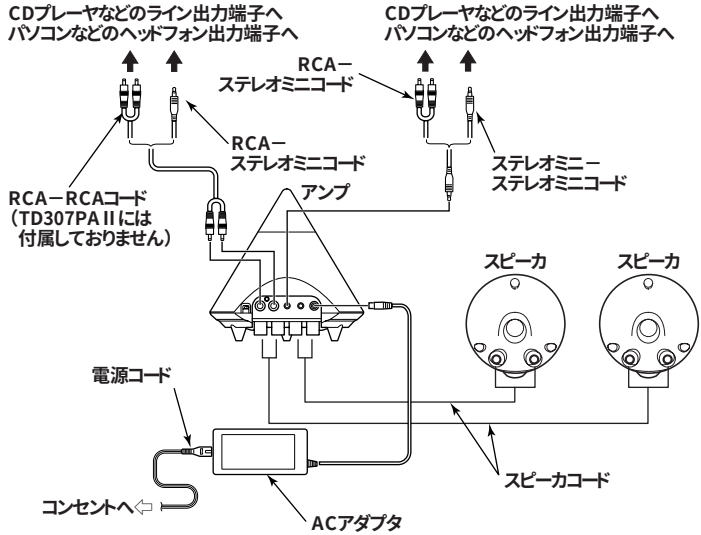
9 ACアダプター

10 スピーカ出力端子

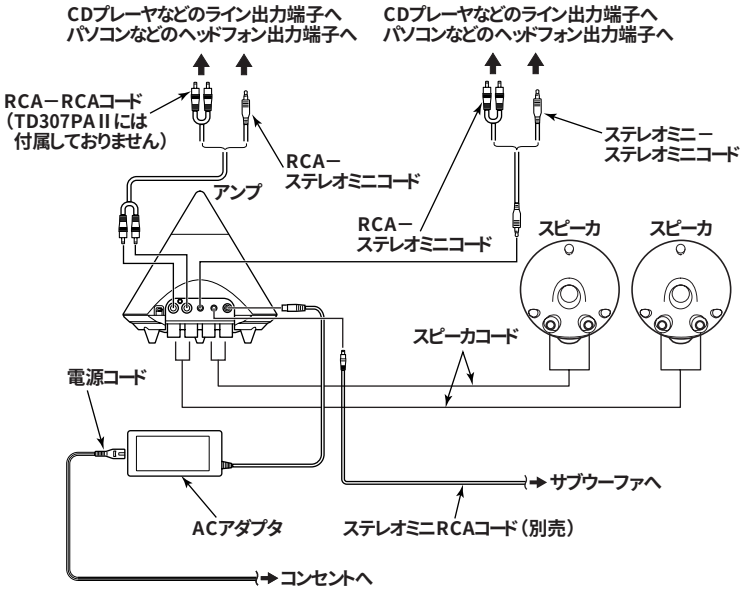
接続の際には、スピーカコードの端が隣の端子に触れることのないよう、確実に固定してください。

接　続　例

■プレーヤ＋アンプ＋スピーカ



■プレーヤ＋アンプ＋スピーカ＋サブウーファ



お手入れ／仕様

■お手入れ

お手入れする前には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
この製品の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。
汚れがひどいときは、水にひたした布をよくしぼって拭き取り、乾いた布で仕上げてください。

本製品を、ベンジンやシンナー系の液体で拭かないでください。
キャビネット表面を傷める原因となります。

■動作に異常が起きたとき

本製品を使用中に、強い外来ノイズ（過大な衝撃、静電気、落雷による電源電圧の異常等）を受けた場合、または誤った操作をした場合に、正しい動作をしなくなるなどの現象が発生することがあります。

そのようなときは、電源スイッチを一度、「OFF」にしてください。
再び電源を入れ、正常な動作に戻ることを確認してください。
（引き続き異常が発生する場合は、当社窓口へご連絡ください。）

■仕様

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

【アンプ部】
定格出力　：12W
　（負荷8Ω　THD：1%時）
最大出力　：15W
　（負荷8Ω　THD：10%時）
出力形式　：BTL出力
全高調波歪率：0.05%（1W出力時　1kHz）
周波数特性　：10Hz～100kHz（±3dB)
入力感度　：180mVrms（12W出力時）
信号対雑音比：85dB
分離度　：50dB以上
入力インピーダンス ：10kΩ
適合負荷インピーダンス ：8Ω
外形寸法　：W159×D137×H154
質量　：930g

【ACアダプタ】
入力電圧　：100V（日本)
　120V(北米)
　230V(欧州)
出力電圧　：DC＋17V
出力電流　：DC2.9A
外形寸法　：W121×D56×H33
質量　：360g

保証とアフターサービス

■保証書（別添）

保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

保証期間

お買いあげの日から1年間です。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

■補修用性能部品の最低保有期間

本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。
この期間は、通商産業省の指導によるものです。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理及びご不明な点に関するご相談は

下記「富士通テン株式会社　ECLIPSE TDインフォメーション」にお問い合わせください。

富士通テン株式会社
ECLIPSE TDインフォメーション
フリーダイヤル：0120-02-7755
受付時間：午前10:00～12:00、
午後1:00～5:00
（土・日・祝祭日・弊社休業日を除く）
電子メールアドレス：TD-info@tm.ten.fujitsu.com

■修理を依頼されるときは

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。